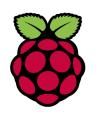
WLOラズパイ倶楽部+a クラウド活用で らくらくリモートログイン







2019年6月6日



- ・ヘッドレスの概要を理解する(復習)
- ・RealVNCをつかって、リモートでVNC接続してみる
- ・serveoをつかって、リモートでssh接続、Webページ公開してみる



・Raspberry Piを「ディスプレイ」「キーボード・マウス」を接続しないで使うこと

ユースケース例:

外出先等でPCやスマートフォンしかない状態でRaspberry Piを使う 自宅サーバとして使う IoT機器として使う





・メリットとデメリット

- ○消費電力が小さい
- ○持ち運びが楽
- ○遠隔操作が可能
- ●初期設定が必要
- ●操作に遅延がある(ことがある)



簡単

難しい?

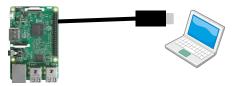
・**シリアル(UART)変換モジュール** PCとシリアルケーブルで接続する

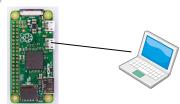
·USB-OTG接続

PCとUSBで接続する(A/A+/Zero/ZeroWのみ)



PCと有線LANで接続する







・WiFi接続(Raspberry Piがクライアント)

無線LANアクセスポイントにRaspberry Piを接続し、 同じ無線LANに接続したPC、スマホからアクセス



・WiFi接続(Raspberry Piがアクセスポイント)

Raspberry Piにアクセスポイントソフトウェアを インストールし、PC、スマホからアクセス



・インターネット(クラウド)接続(本日説明)

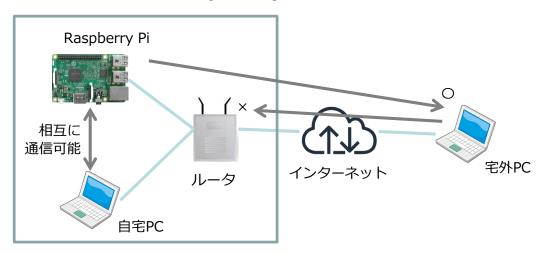
Raspberry Piをインターネットに接続して、 インターネット/VPN経由でPC、スマホから接続する





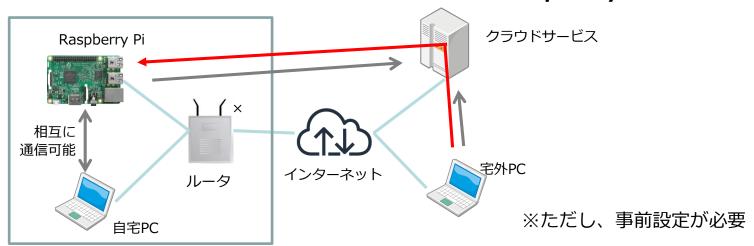
http://git.io/wlopi

・宅外からは自宅のRaspberry Piに直接通信できない



宅内→宅外は通信可能だが、 宅外→宅内は直接通信できない

・クラウドサービスを経由することで、宅外から自宅のRaspberry Piに通信する





リモート接続クラウドを使うメリットとデメリット

●メリット

Raspberry PiのLAN内IPアドレスを固定しなくても、変更しても使える。

ネットワーク機器の設定をしなくても使える

世界中どこからでも使える

●デメリット

セキュリティ設定をおろそかにしていると、サービスを通じて外部から侵入されてしまう。

デバイス~クラウドサービス~端末、それぞれの間で遅延が発生する

ソフトウェアの導入/設定のため一度はコンソールを接続する必要がある



Raspberry Piでも使えるリモート接続クラウド

• GUI

```
RealVNC https://www.realvnc.com/en/
VNCプロトコルを用いてGUIコンソールを転送するサービス。
TeamViewer https://www.teamviewer.com/ja/
独自プロトコルを使うリモートデスクトップ
logMeIn https://www.logmein.com/ja
独自プロトコルを使うリモートデスクトップ
```

• CUI

```
SERVEO https://serveo.net/
SSHクライアントをつかって、SSH接続/ローカルWebページ公開ができる。
ngrok https://ngrok.com/
独自クライアントをつかって、SSH接続/ローカルWebページ公開ができる。
localtunnel https://localtunnel.me/
OSSの独自クライアントをつかって、ローカルWebページ公開ができる。
```



Raspberry Piでも使えるリモート接続クラウド

• GUI

RealVNC https://www.realvnc.com/en/

VNCプロトコルを用いてGUIコンソールを転送するサービス。

TeamViewer https://www.teamviewer.com/ja/

独自プロトコルを使うリモートデスクトップ

logMeIn https://www.logmein.com/ja

独自プロトコルを使うリモートデスクトップ

• CUI

Serveo https://serveo.net/

SSHクライアントをつかって、SSH接続/ローカルWebページ公開ができる。

ngrok https://ngrok.com/

独自クライアントをつかって、SSH接続/ローカルWebページ公開ができる。

localtunnel https://localtunnel.me/

OSSの独自クライアントをつかって、ローカルWebページ公開ができる。

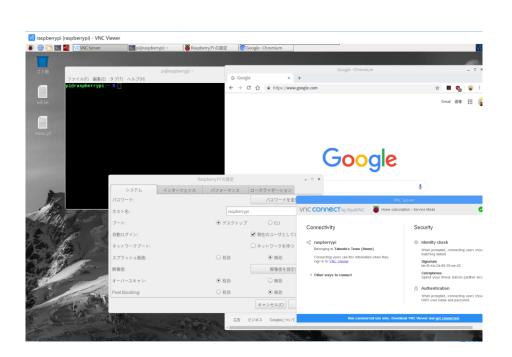


・リモートデスクトップ

他の端末(Windows/Mac/Android/iOS)からデバイスのVNCサーバに接続して、デスクトップを使える

・ファイル転送

端末からデバイスにファイル送信できる(Windows/Macのみ)



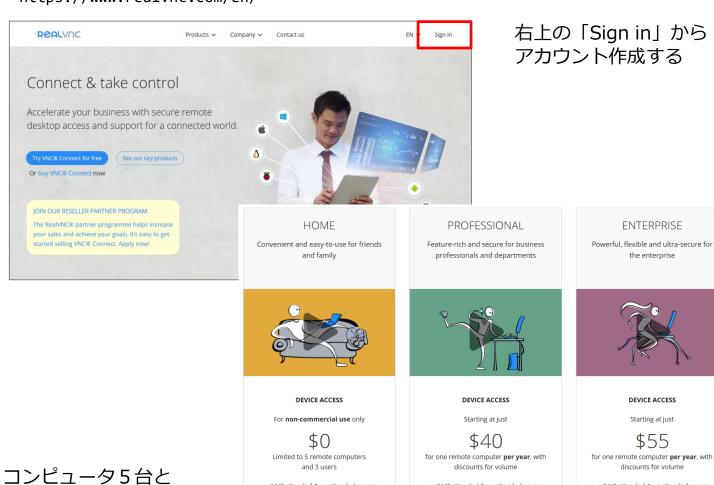




https://www.realvnc.com/en/

3ユーザまでは

HOMEアカウントで無料



• 24/7 attended & unattended access

· Cloud connections only

Desk-side install required

• 24/7 attended & unattended access

· Cloud connections only

· Desk-side install required

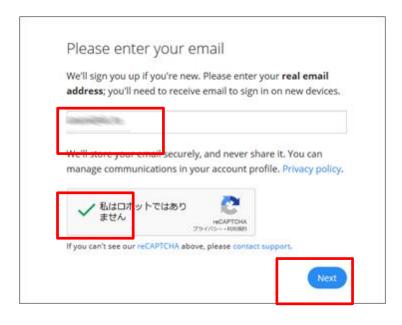
WLO Raspi Club

• 24/7 attended & unattended access

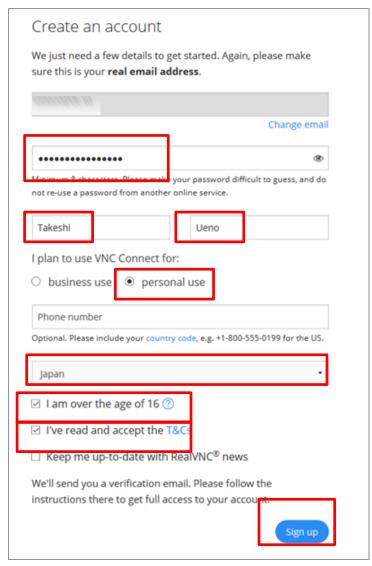
· Cloud and direct connections

· Remote deployment options

RealVNCアカウント作成

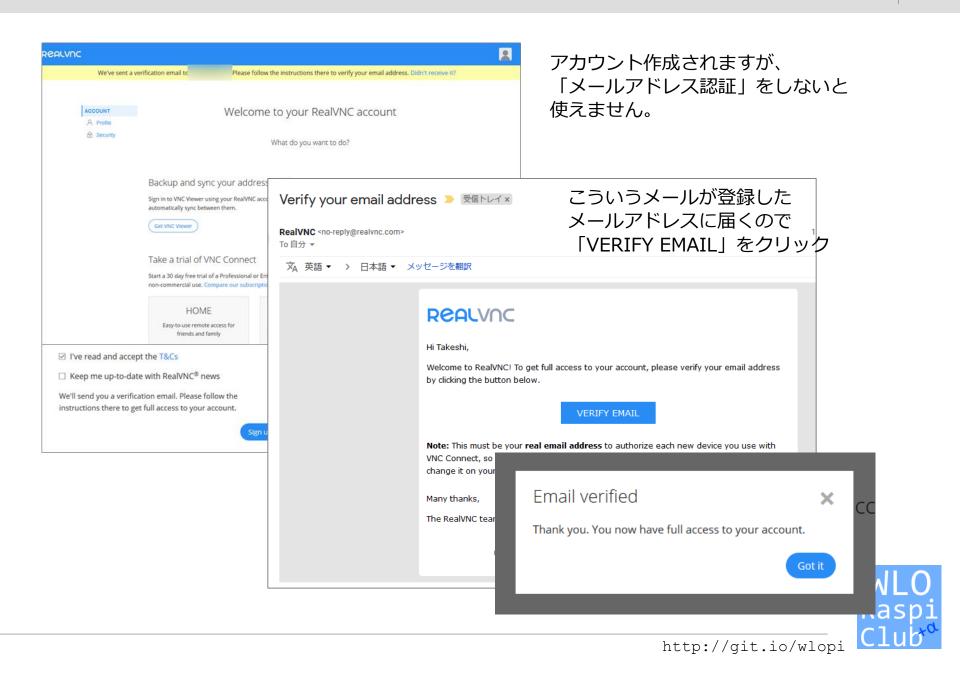


メールアドレス入力して 「ロボットよけ」チェックして 「Next」をクリック。 (アカウントがすでにある場合は ログイン画面に移行します)

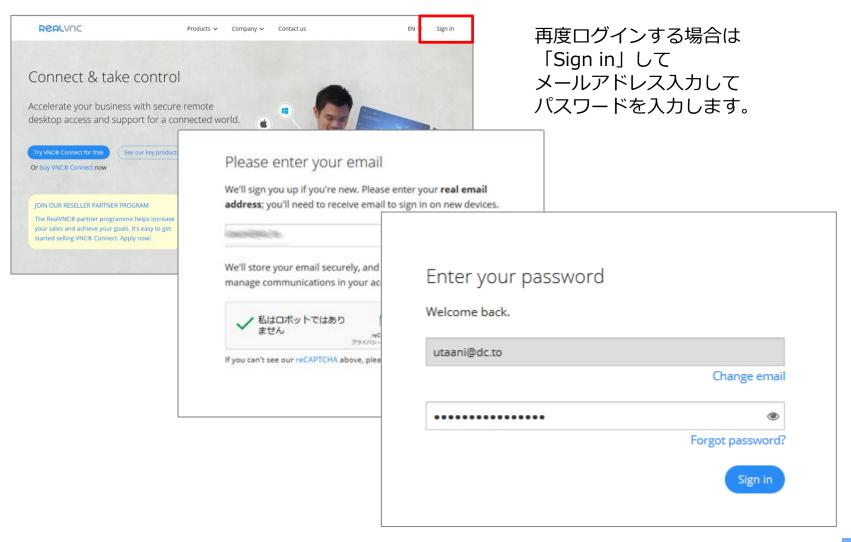


必要事項を入力します。

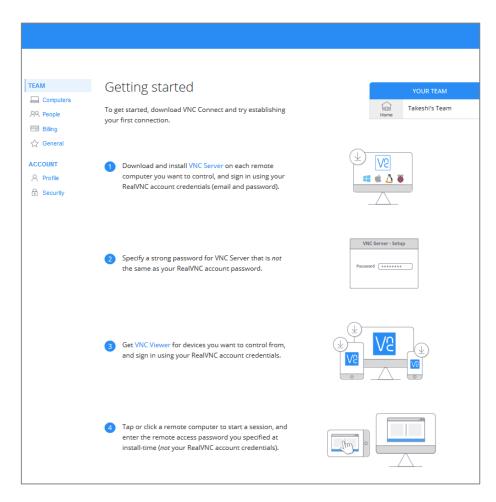




RealVNCアカウント作成

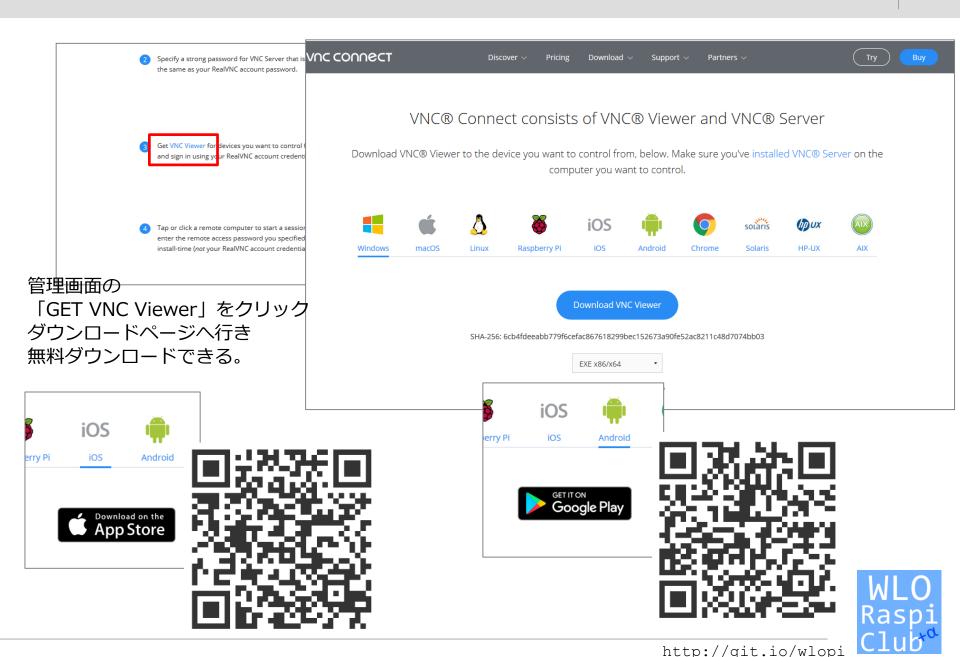






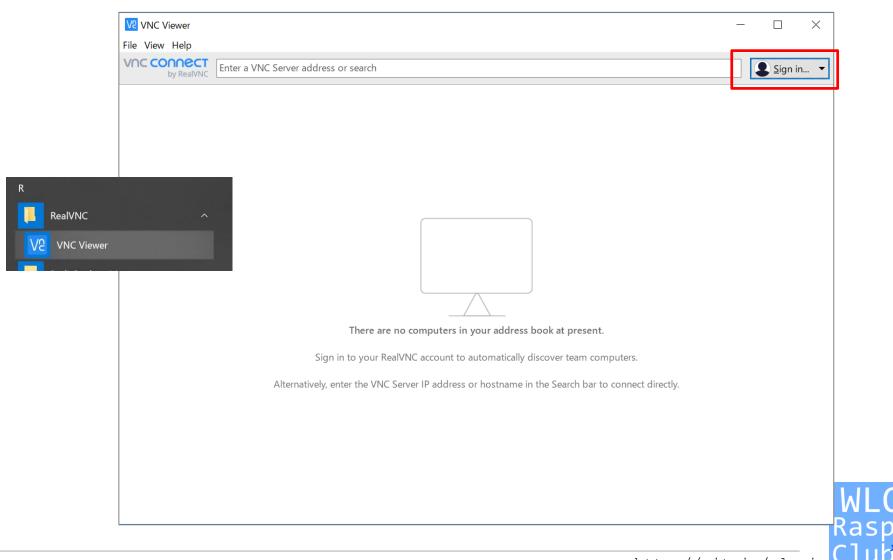
管理画面が開きます。



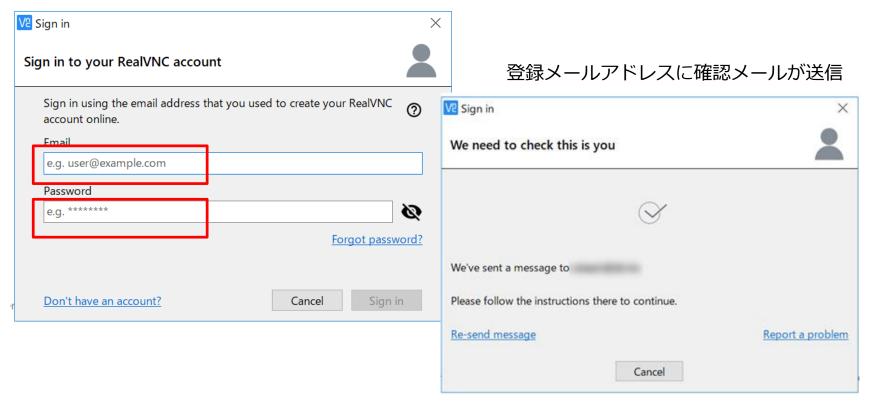


「VNC Viewer」を起動

「Sign in...」クリックで アカウント確認開始



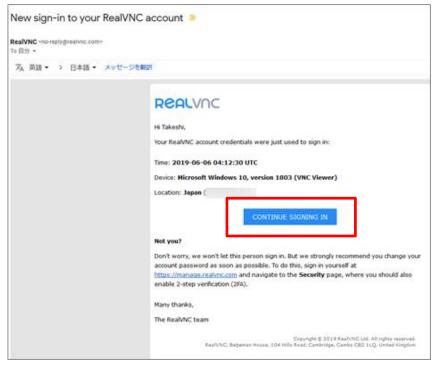
RealVNCアカウント情報(登録メールアドレスとパスワード)を入力



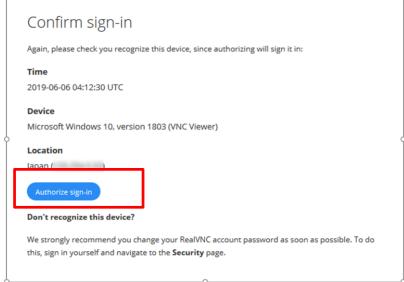


VNC Viewerサインイン-メール認証

登録メールアドレスに確認メールがくるので「CONTINUE SIGNING IN」をクリック



Webページに遷移するので内容確認して「Authorize sign-in」をクリック ※WebブラウザでRealVNCサイトに ログインしていない場合は P13のログイン手続きを行う

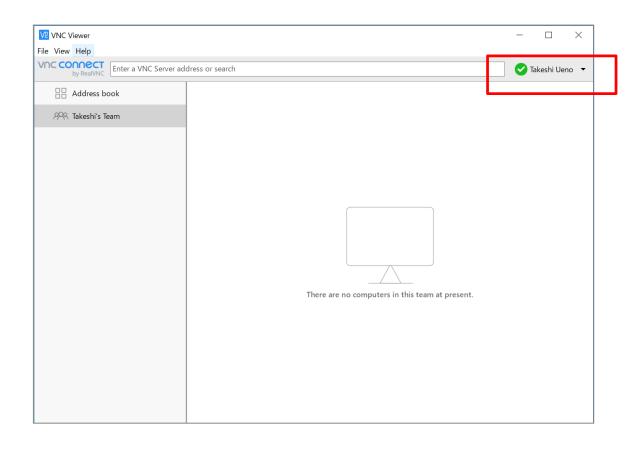


Sign-in authorized

Thank you. You are now signed in to your RealVNC account on the original device.

Please close this browser tab and continue on that device.







(再確認)Raspberry Piのパスワード変更

VNCでは、デフォルトで Raspberry Piの デフォルトユーザである 「pi」の UNIXアカウントを 認証に使います。

導入してからパスワードを変更していない場合は VNC導入時に必ず 自分自身のパスワードに変更しておきましょう。 ・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→システムタブ

	Ra	spberry Pi の設定		_ 🗆 🗙
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
パスワード:			パスワードを変	更(P)
ホスト名:		utaanipi2		
プート:		● デスクトップ	O CLI	
自動ログイン:			✔ 現在のユーザとして	コグインする
ネットワークブート:			□ ネットワークを待つ	
スプラッシュ画面:		● 有効	○ 無効	
解像度			解像度を設定	(<u>R</u>)
オーバースキャン:		● 有効	○ 無効	
Pixel Doubling:		○ 有効	● 無効	
			キャンセル(<u>C</u>)	ОК(<u>О</u>)
110	(●) テスクトッフ スワードの変更	_ = ×		
新しいパスワードの。 新しいパスワードを	入力:			
	ワー…ました - □ × 変更に成功しました。 OK(0)			WL(Rasp

http://git.io/wlopi

・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→システムタブ

	Ra	spberry Pi の設定		_ = ×
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
カメラ:		○ 有効	● 無効	
SSH:		〇 有効	無効	
VNC:		○有効	無効	
SPI:		C COPINOR	RealVNCでのリモートアクセス	を有効にする
12C:		〇 有効	無効	
Serial Port:		○ 有効	無効	
Serial Console:		● 有効	〇 無効	
1-Wire:		〇 有効	無効	
リモートGPIO:		〇 有効	無効	





- ※起動しない場合:古いRaspbianなどでVNCが入っていない場合は、
- \$ sudo apt install realvnc-vnc-server
- でパッケージを導入することで導入できる。

(Raspbian Stretch Liteを導入している場合は、

PIXEL(GUI)を導入する必要あり:30分以上かかる)

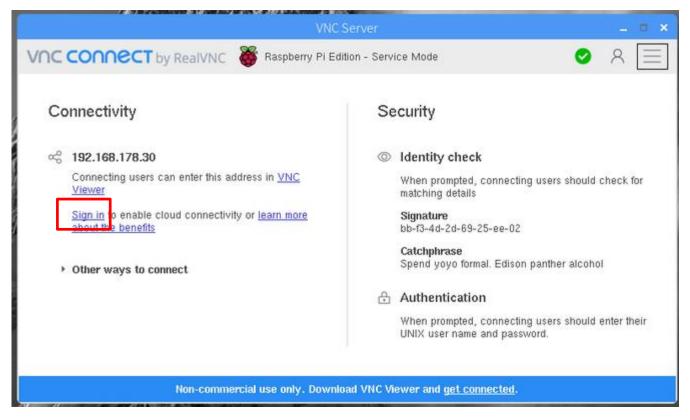
- \$ sudo apt-get install --no-install-recommends xserver-xorg
- \$ sudo apt-get install --no-install-recommends xint
- \$ sudo apt-get install raspberrypi-ui-mods
- \$ sudo apt install realvnc-vnc-server

最後に再起動



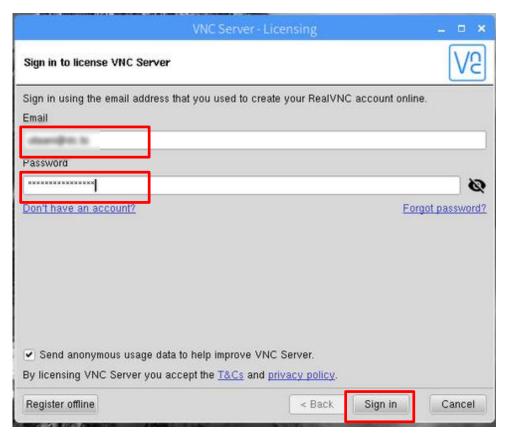
右上のVNCアイコンクリック →「Sign in」をクリック

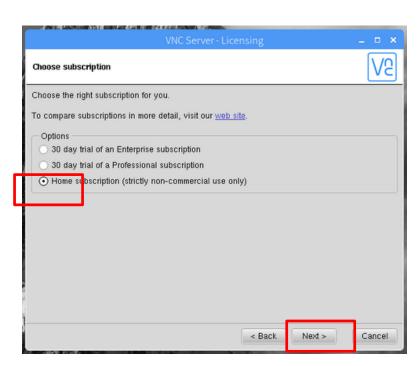






RealVNCアカウント情報(登録メールアドレスとパスワード)を入力し、Sign inをクリック

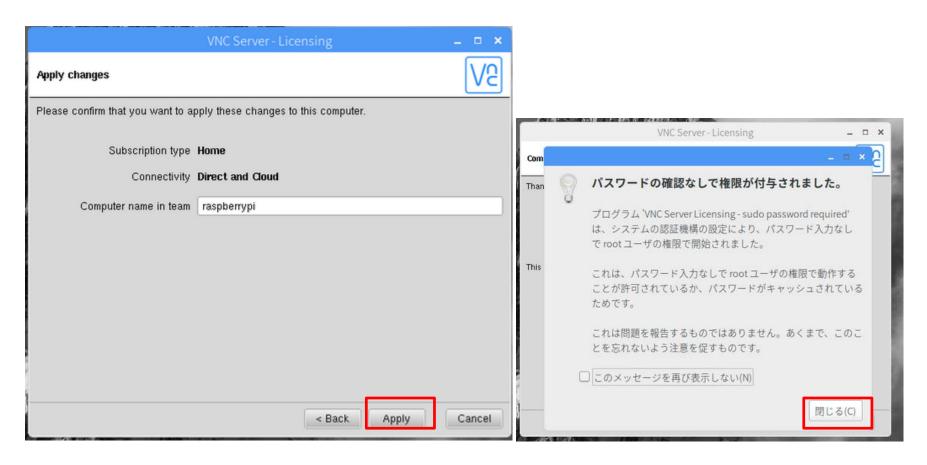




Home subscriptionをチェックし、「Next」をクリック



内容を確認して、コンピュータ名を入力(オプション)し、「Apply」をクリック



権限確認がでるので「閉じる」をクリック



完了画面がでるので、「Done」をクリック



Raspberry Piの画面解像度設定

ヘッドレスで使う場合、あらかじめRaspberry Piの解像度を設定しておく必要があります。

・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→システムタブの「解像度を設定」をクリック

	Ra	spberry Pi の設定		_ = >
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
パスワード:			パスワードを変更(P)	
ホスト名:		raspberry	ypi	
ブート:		⊙ デスクトップ	₹ O CLI	
自動ログイン:		解像度の設定	□ To X のユーザとしてログ・	インする
ネットワークブート:	解像度: Default -	preferred monitor setti	トワークを待つ	
スプラッシュ画面:	#	・ャンセル(C) OF	● 無効	
解像度:	_	The second of the second	解像度を設定(F)	
オーバースキャン:		● 有効	〇 無効	
Pixel Doubling:		〇 有効	無効	
			キャンセル(C) OK	(O)

デフォルトでは「preferred monitor settings」になっています。 (接続するモニタの種類によって自動判別する)

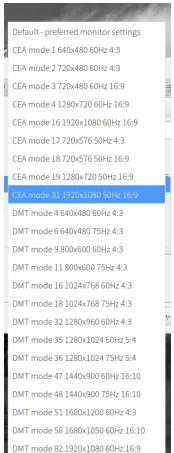


(このままだと、ヘッドレス接続時には小さい画面になってしまいます $_{
m tp://git.io/wlopi}$

Raspberry Piの画面解像度設定

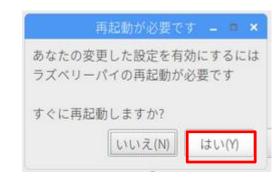






解像度の設定方法:

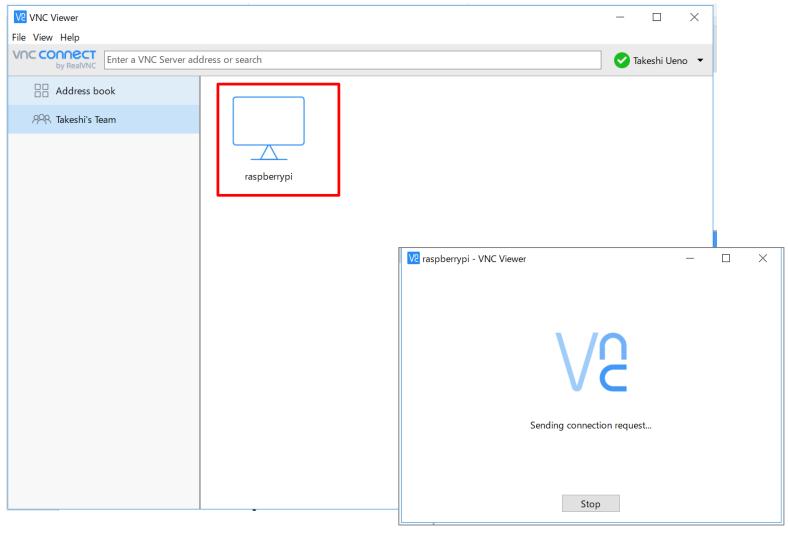
- ・家庭用のテレビに接続する可能性のある方は CEA modeを選んでください。 (DMT modeにすると コンピュータ用モニタ以外に接続しても 表示されない)
- ・解像度はサイズが小さい方が通信速度が早くなりますが、使いにくくなります。 VNC Viewerの端末の解像度に合わせて設定します。
- ・わからない場合は CEA mode 1280x720 か CEA mode 1920x1080 をお勧めします。



解像度の変更後は Raspberry Piを再起動する 必要があります。



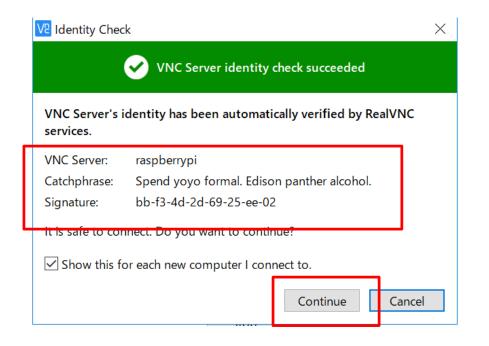
登録完了していたら、Teamにホスト名が表示されていますのでクリックします。



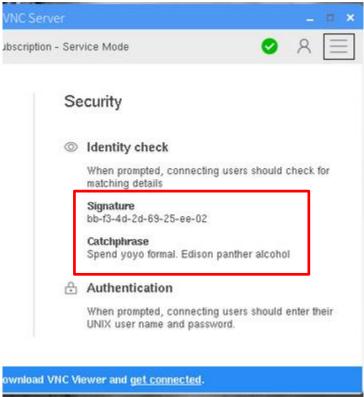


VNC viewerでアクセスしてみる

初回起動時はidentity checkが表示されます。Raspberry Pi側に表示されていた CatchphraseとSignatureを確認して、「Continue」をクリックします。



※Raspberry PiのVNC画面





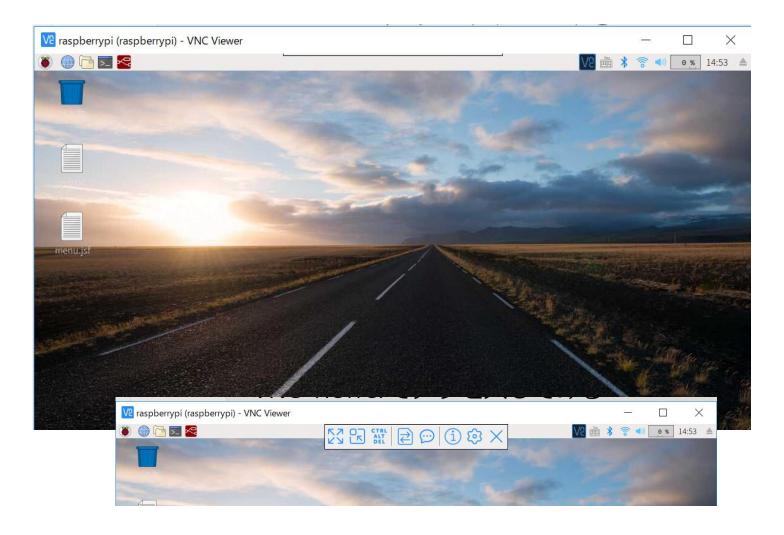
VNC viewerでアクセスしてみる

端末認証画面が表示されますので Raspberry Piの標準ユーザ「pi」とそのパスワードを入れます。 (ここでもCatchphrase表示されます。2回目以降のログイン時にはここで確認できます)

V2 Authentication ×				
Authenticate to VNC Server raspberrypi				
Username:	pi			
Password:	₩			
Remember password Forgot password?				
Catchphrase: Spend yoyo formal. Edison panther alcohol. Signature: bb-f3-4d-2d-69-25-ee-02				
	OK Cancel			



Raspberry Piのコンソールが表示され、操作可能です。 上方、真ん中付近にマウスカーソルをもっていくと、設定メニューが表示されます。

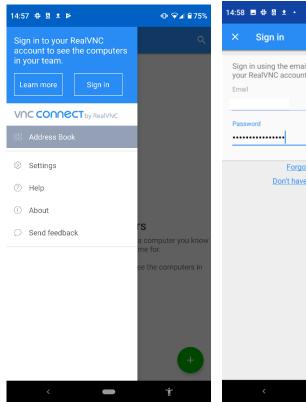


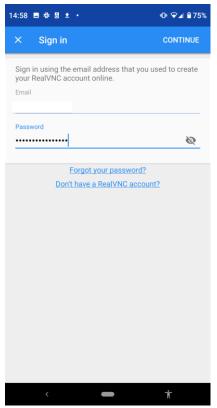


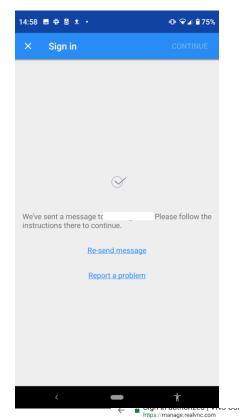
- フルスクリーン表示/戻す
- 画面解像度切換え(クリックするごとに原寸:ウインドウサイズに合わせる、を切り替え)
- デバイスにCTRL+ALT+DELを送信
- viewerとデバイス間でファイルの送受信を行う
- viewerとデバイス間でチャット(英文字のみ)
- 接続デバイス情報表示
- 設定画面
- 接続を閉じる

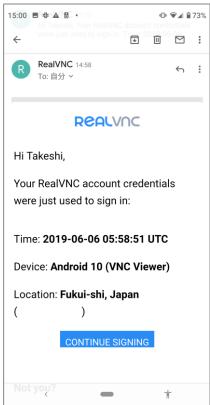


Android版VNC Viewer









Sign-in authorized

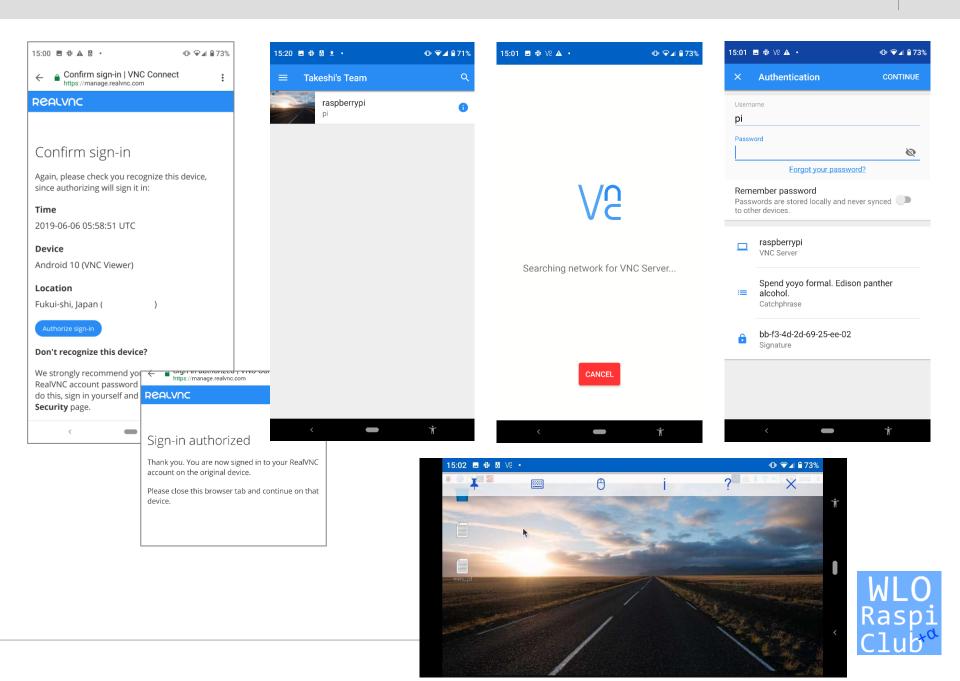
REALVIC

Thank you. You are now signed in to your RealVNC account on the original device.

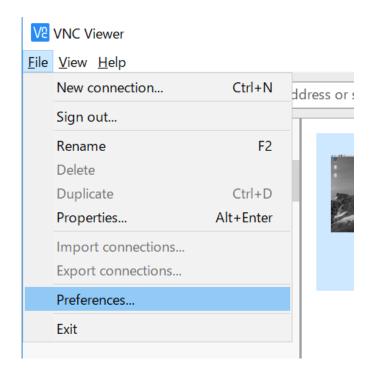
Please close this browser tab and continue on that device.



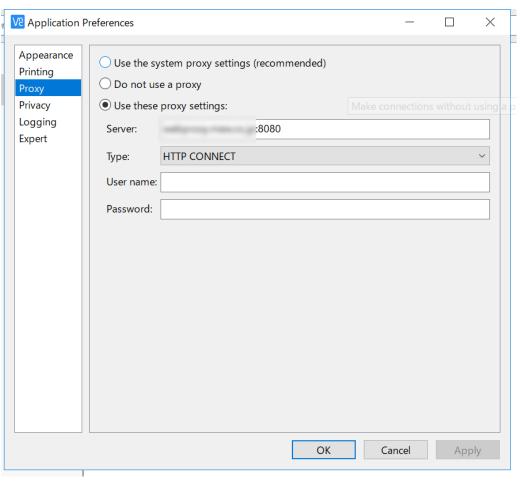
Android版VNC Viewer



RealVNCその他設定



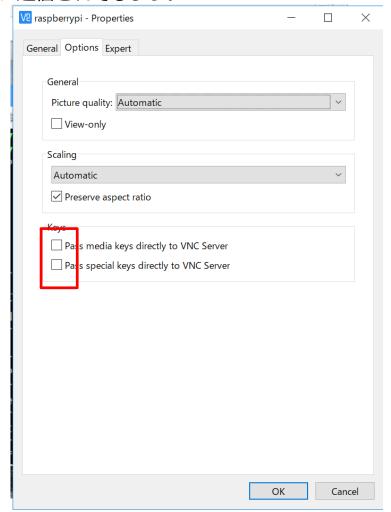
端末各種設定



viewer端末がイントラネットの場合、PROXY指定できます。 (http connect/socks5)

VNC画面のスクリーンショットを取りたい デフォルトでは、VNC開いているときはすべてのキー操作がデバイスに送信されるので、 PrintScreenキーもデバイスに送信されてしまう。

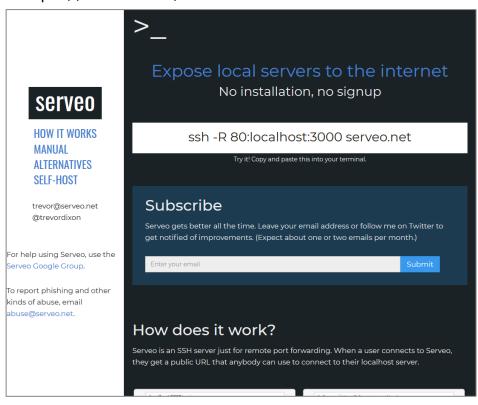




VNC設定画面の 「Options」タブの Keysで、メディアキーと スペシャルキーを デバイスに送信しない 設定ができる。



https://serveo.net/



serveoは、sshのポート転送機能を 用いて、クラウド〜ローカルの 通信転送ができるサービスです。 (無料)

特徵:

- 完全無料
- ・特別な端末ソフトの導入不要 (sshクライアントのみ)
- http転送のフロントエンドはhttps (SSLでのアクセス)
- ・ホスト名(の一部)を指定可能
- ・外部からSSH転送可能
- ・任意のTCPパケット転送可能

ユースケース:

- ・Raspberry Piで作ったWebページに インターネットからアクセスする (SSLで)
- ・インターネットから自宅の RaspberryPiにSSHでログインする



(もう一度確認)Raspberry Piのパスワード変更

SERVEOでリモートログイン が可能になると、デフォルト パスワードのままでは大変危 険です。

導入してからパスワードを 変更していない場合は 必ず自分自身のパスワードに 変更しておきましょう。 ・GUI:メニュー→設定→Raspberry Piの設定→システムタブ

	Ra	spberry Pi の設定		_ 🗆 🗙
システム	インターフェイス	パフォーマンス	ローカライゼーション	
パスワード:			パスワードを変	更(P)
ホスト名:		utaanipi2		
プート:		● デスクトップ	O CLI	
自動ログイン:			✔ 現在のユーザとして	コグインする
ネットワークブート:			□ ネットワークを待つ	
スプラッシュ画面:		● 有効	○ 無効	
解像度			解像度を設定	(<u>R</u>)
オーバースキャン:		● 有効	○ 無効	
Pixel Doubling:		○ 有効	● 無効	
			キャンセル(<u>C</u>)	ОК(<u>О</u>)
110	(●) テスクトッフ スワードの変更	_ = ×		
新しいパスワードの。 新しいパスワードを	入力:			
	ワー…ました - □ × 変更に成功しました。 OK(0)			WL(Rasp

http://git.io/wlopi

・2016-11-25のRaspbianから、デフォルトでssh(リモートログインシェル)が無効化 sshがないと、ネットワーク経由でRaspberry Piにアクセスできない



・ヘッドレス時

FAT16のルートフォルダに ssh もしくは ssh.txt というファイルを作る



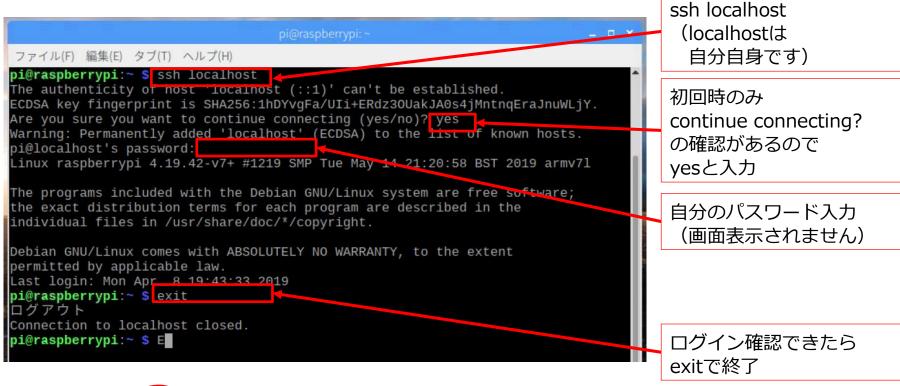
まず自分自身へSSHログインしてみる

V² raspberrypi (raspb€



※以降、

すべてLXTerminal内の作業になります



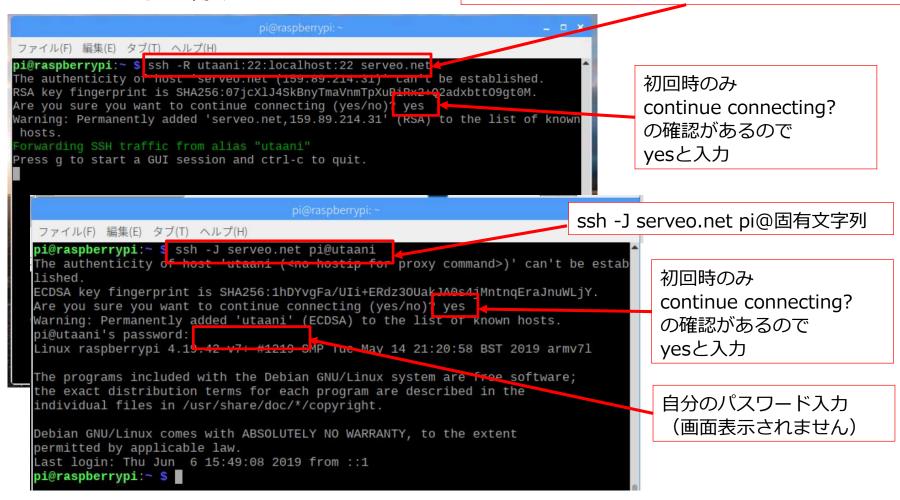




SERVEO経由で接続してみる

※LXTerminalを2つ開く

ssh -R 固有文字列:22:localhost:22 serveo.net





serveoにsshで接続して、sshポート経由でraspberry piにsshしている

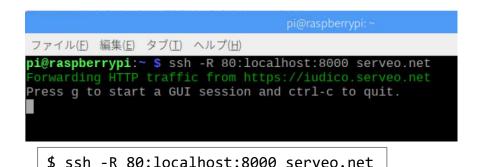


SERVEO経由でWebサーバを公開してみる

- ※LXTerminalを2つ開く
- ①簡単なWebサーバを構築

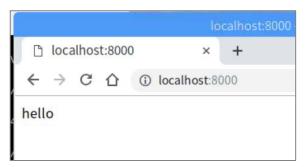
\$ echo hello > index.html
\$ python -m SimpleHTTPServer
Serving HTTP on 0.0.0.0 port 8000 ...

③serveoに接続





②Webブラウザで接続して確認



④serveo経由でSSL接続して確認



serveoにsshで接続して、sshポート経由でraspberry piにhttps接続している(https→http変換はserveoが担当)



● Webホスト名を自分で決める

デフォルトでは、ホスト名はserveoが自動生成するが、ホスト名を固定したい場合、 空があれば指定したホスト名を割り振ってくれます。

\$ ssh -R utaani1234.serveo.net:80:localhost:8000 serveo.net

pi@raspberrypi:~ \$ ssh -R utaani1234.serveo.net:80:localhost:8000 serveo.net
Forwarding HTTP traffic from https://utaani1234.serveo.net
Press g to start a GUI session and ctrl-c to quit.

●ssh切断防止

sshはしばらく通信がないと切断してしまうので、そのたびごとに再起動が必要。 オプションを付けることで、定期的に通信してくれて切断を防止してくれる \$ ssh -J serveo.net -o **ServerAliveInterval=60** -R utaani:22:localhost:8000 serveo.net

●切断後自動再接続してくれるautossh

通信回線の品質が悪い場合、切断防止していても切断することがある。 autossh https://www.harding.motd.ca/autossh/ をインストールすることで、切断しても再接続してくれる。

インストール方法 \$ sudo apt install -y autossh

\$ autossh -M 0 -R utaani1234.serveo.net:80:localhost:8000 serveo.net

